

八丈出張所管内感染症発生動向調査

東京都島しょ保健所 八丈出張所管内(八丈町・青ヶ島村)



【定点把握疾患】2025年 第44・45・46週(10月27日～11月16日)

八丈島 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:2件(44週)、3件(46週)
インフルエンザ:1件(45週)、2件(46週)
RSウイルス:1件(45週) COVID19:1件(46週)
青ヶ島 なし(44週)、インフルエンザ:1件(45週)、3件(46週)



【東京都全体の状況】東京都感染症情報センター

・第43週(10月20日～10月26日)

インフルエンザの定点当たり報告数は **10.37** で、都の注意報基準となる 10.0 を超えました

・第44週(10月27日～11月2日)

インフルエンザの定点当たり報告数は **23.69** で、先週より増加しています。

・第45週(11月3日～11月9日)

43週に注意報基準を超えたインフルエンザの定点当たりの報告数は **29.03** と増加し、警報レベルとなった保健所の管内人口の合計が都全体の 30%を上回り 46.18%となつたため、都全体の 30%を上回り、都の警報基準を超えるました。

2025年11月16日～12月15日は「東京都エイズ予防月間です」

令和7年度 東京都エイズ予防月間テーマ

「ねえ、知ってる? HIVのこと」

HIV/エイズの治療は進歩を遂げており、治療を継続することで感染前と変わらない生活を送ることができ、大切な人への感染も防ぐことができます。東京都は、12月1日の「世界エイズデー」を中心とした11月16日から12月15日までを、「東京都エイズ予防月間」とし、HIV/エイズの最新の正しい知識を広く知っていただく取組を実施します。

匿名・無料検査や「U=U」といった新しい知識など、HIV/エイズの正しい知識の普及を通じて、予防や早期発見につなげ、HIV陽性者への偏見・差別のない社会づくりを目指します。

ねえ、知ってる? HIVのこと



令和7年度東京都エイズ予防月間ポスター・リーフレットを、都内高等学校、大学、短大、専修・各種学校、献血ルーム、保健所、区市町村等に配布します。

また、医療機関や企業、インターネットカフェ等の若者が集う施設等にも配布するほか、都営交通の車内広告や東京メトロの各駅でのポスターの掲出も行います。

HIV/エイズの治療は進歩を遂げており、治療を継続することで感染前と変わらない生活を送ることができ、大切な人への感染も防ぐことができます。

U=U (Undetectable=Untransmittable) とは、抗 HIV 療法を継続することで、血中のウイルス量が 200 copies/mL 未満の状態を6ヶ月以上維持している状態の HIV 陽性者は(「Undetectable: 検出限界未満」)他の人に性行為を通じて HIV 感染させることは一切ない(「Untransmittable: HIV 感染しない」)という、科学的に根拠づけられた事実を、わかりやすく、そして世界的に伝えるメッセージです。



東京都エイズ予防月間
普及啓発イベント



島しょ保健所では島の11医療機関から感染症の報告をいただき、情報提供をしています。

※八丈出張所管内、東京都(全域)、全国の発生動向につきましては、下記のホームページでもご覧になれます。

- 島しょ保健所八丈出張所 <https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shisetsu/jigyosyo/hokenjyo/tousyo/hachijou>
- 東京都(全域) ⇒ Web 版感染症発生動向(東京都感染症情報センター) <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- 全国 ⇒ 国立健康危機管理研究機構(感染症情報提供サイト) <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>
- 厚生労働省感染対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

